

# 妙高山山行記録



霧の中、燕温泉を歩き出す



山頂三角点



長助池の紅葉

目的地	妙高山	期 日	平成22年10月14日(木):霧、曇り
山人	笠原正雄・澄子	特 記	11年ぶりに登る。

地点名	時刻	記 事
与板発	午前3:30	ETC 深夜割引利用のため早出をする。途中から降り出し、温泉下の駐車場で朝食、仮眠しながら雨が止むのを待つ。
燕温泉着	// 5:30	
// 発	7:05	まだ小雨だが、回復予報を信じて、ガスの中、雨具を着て歩き出す。黄金の湯から夫婦が帰って来る。雨で山行をあきらめたと云う。7:20 雨具上衣を脱ぐ。
湯道経由	7:30	引湯管の埋め込まれた道に行く。
一時ガスが切れる	7:50	登路で雨具ズボン脱ぐ。一時陽が差しガスが切れ、右手対岸の上部に紅葉が見えたが、それもつかの間であった。温泉臭が漂ってくる。
赤倉温泉 源泉管理小屋	8:05	道脇に水が出ている。小屋外に薪が積んであった。ここから明らかに引湯管が埋め込まれたとわかる道と階段道が並行している。
光明滝・称名滝	8:11	河床が温泉成分で乳白色となっている。ますます温泉臭が強くなる。
麻平コース合流	8:30	右手に階段が下りている。12年前は麻平経由で登っている。
胸突き八丁	9:05	この少し手前で、一方が還暦を記念しての登山という男2人隊を追い越す。
天狗堂	9:25~9:40	広場左手に大谷ヒュッテに下る道がある。赤倉温泉のゴンドラは紅葉シーズンに限って運転されているようだ。祠前に腰を下ろし350缶を一本空ける。
光善寺池	9:48	ロープで囲われているが、水は無い。「妙高高原を美しくする会」とある。
風穴	10:05	足元に小さな標柱。山頂まで1.0kmと書かれている。
鎖場手前で休む	10:20~10:30	カッターシャツを重ね着する。単独男が追い付いて来た。今まで霧で見えなかったが、鎖場を降りる人が見えて来て、話し声も届いてきた。
鎖場	10:45	直前で全行の大学生らしい10数人隊とスライド。高谷池幕営の縦走という。
鎖場途中	10:50	赤倉山方向の斜面を見下ろし霧の流れを撮影するがうまく撮れなかった。
妙高大神	11:20	登路から少し右に入る。最高標高点2,454m。
三角点山頂	11:30	三角点標高は2,445.9m。しかし標柱には妙高山山頂2,454mと書かれている。笹ヶ峰から入山の夫婦がランチ中、隣にシートを敷いてフライパンで焼きそばを作る。単独男と、後に還暦登山の2人が上がって来た。残念ながら展望は無い。
下山へ	12:45	先へ進み大下り、燕新道経由で周回する。大下りでは時折陽が差し、ガスの流れの中、ダケカンバが光る。
長助池分岐	午後1:40	左は大倉乗越を経て黒沢である。右へ下る。別の単独男が追越して行った。
長助池	2:00	湿地に木道。対岸の紅葉は盛りだが、日差しも無く、ガスが流れて鮮やかには映らない。それでもしばらく眺めていた。
大倉分岐	2:35	左に行けば黒沢・神奈山へ。直進する。
黄金清水	2:50	左から流れ落ちている。コップがあり、一杯飲む。樹幹から時たまの日差しで対岸の紅葉が美しい。
大倉沢右岸へ	3:30	雑木を束ねた橋で流れを渉る。
麻平分岐	3:55	この後、落石防止で斜面にネット張り工事中。登山道は迂回している。
妙仙橋	4:15	10分前に入山者カウンターを通る。河原の湯は落石のため進入禁止。
燕温泉着	4:20	温泉宿で一人600円入浴。ナメコとツルウメモドキを買って帰る。

コース取りは少し違うが、12年前と11年前に登っている。数日前、新聞報道でここの紅葉の記事が掲載された。それを目当てに出かけることにした。朝のうち雨が残るものの晴れの予報だった。けれども、期待した晴れには向かわなかった。一瞬だけ北地獄谷対岸の紅葉が見えたのみで殆んど展望は無かった。しかし、見えれば素晴らしいに違いないと思わせる。燕温泉の泉質も気に入った。いつかまた晴れの日に出かけてみたいものだ。